阿用地区 振興協議会だより

阿用地区振興協議会 令和８年10月31日発行　第199号
〒699-1224　雲南市大東町東阿用33-1　　電話・FAX（0854）43-2811
Eメール　ayo-c@hotaru.yoitoko.jp

第78回 阿用地区民体育大会開催

ビン倒しリレー

10月４日阿用地区民体育大会が２年ぶりに阿用小学校グラウンドで開催されました。最後は雨が降りましたが、10チームの参加により、フィールド内の競技を中心に競い合いました。未就学児による幼児風船とりでは久々に多くの子供たちを見ることができ、暖かい気持ちになりました。また、地区内の交流の場でもあり、地区民体育大会の良さを感じた和やかな雰囲気の大会となりました。

大会の結果は、総合の部　優勝：三峠　準優勝：掛屋　３位：東上
努力賞：中盛

ボールまと入れリレー

綱引き

種目別	１位	２位	３位
綱引き	東上	中盛	掛屋
			三峠
玉入れ	三峠	掛屋	東上
混成リレー	掛屋	三峠	川西

選手、役員の皆さんお疲れさまでした。

混成リレー

水入れリレー

玉入れ

「田舎米作り体験」脱穀編

10月17日（土）「田舎米作り体験」事業でハデ干しした稲をアヨ有機農法塾、振興協議会スタッフ等４名で脱穀しました。ハデ20日と昔から言いますが、刈り取りから20日を経過し、乾燥は十分でした。

昔の農業を振り返りながら約２時間かけ作業を終えました。自然乾燥の良質米（きぬむすめ）の脱穀・籾摺り作業を以って、今年度の「田舎米作り体験」は終了しました。

第44回大東よいとこ祭に出店

10月18日（日）第44回大東よいとこ祭が、大東地域交流センター周辺で開催されました。

阿用地区振興協議会では、アヨ有機農法塾（代表：永瀬康典）の皆さんにより、白菜、ほうれん草、里芋、きゅうり、柿、ピーマン、しょうが、しし唐など新鮮野菜の即売を行いました。暖かくなり大勢の人が来店され大盛況でした。

11月の行事予定（霜月）

※青字は交流センターで行われる行事、緑字は小学校の行事、ピンクは市関係です

日	月	火	水	木	金	土
1 古紙回収日（交流センター） くのじ・磨石山草刈り 9:00	2 挨拶運動（横手谷・掛屋７:40）	3 文化の日	4 古紙回収日（自治会燃やせないごみ収集場所）	5 阿用いきいき健康サロン 9:00 不燃・有害ごみ収集日	6 磨石会奉仕作業 10:00 農地・水・推進委員会 19:00	7 俳句会 13:30
8 阿用地区グラウンドゴルフ大会	9 民生委員会 13:30	10 料理教室 10:30	11	12 蓮華寺登山レース 9:40	13 ビン・カン、古着回収日	14
15 第32回アヨまつり 9:30 うんなん家庭の日 ごみ直接持込み日	16 みーもスクール（自然観察会）9:40	17	18	19 阿用いきいき健康サロン 9:00 5,6年生の平和学習 10:40	20 パソコン教室 9:30 女性ボランティア学級研修会 19:00	21
22	23 勤労感謝の日	24 大東町自主組織連絡協議会 9:30	25	26 阿用いきいき健康サロン 9:00 自治会長会 19:00	27 人権・同和教育研修会 10:30	28
29 古紙回収日（交流センター）	30					

阿用寿会一日研修会を実施

阿用寿会の研修を10月21日（水）に開催し、会員34名の参加がありました。今年は役員会で行き先を検討した結果、境漁港の視察をすることとなりました。

当日は、おさかなパークの施設内での研修の他、ガイドさんの案内で水産物の水揚げ風景を見学する予定でしたが、寒冷前線に伴う雨と、当日の水揚げが少なかったことにより、施設内での視察のみとなりました。

研修では、まず2階のテラスや展示ホールで漁港や市場などについて説明を受けました。大漁といわれる日には約千トンの水揚げがあるそうですが、それが年間に50日くらいあり、その日には境港市役所に大漁旗が立てられるそうです（この日は残念ながら30トン程度の水揚げでした）。

その後、研修室に場所を移し、動画を視聴しながら詳しく説明を受けました。私たちが日々の食事で何気なく口にしているお魚について、あらためて学ぶことができました。研修後は、美保神社に参拝し、境港市内で昼食をとり帰路につきました。

サツマイモの収穫

10月16日（金）に阿用小学校全校生徒で、5月8日に植え付けをした薩摩芋の収穫作業を行いました。畝の土を取り除き、芋の姿を見つけると芋が傷つかないように注意しながら収穫しました。

近くで苦戦している友人を見つけると、自然と手を貸して協力する様子があちこちで見受けられました。両手でようやく持てるような大きな芋を手に楽しそうな声が秋空の下に響きました。

終わりの会では、「学年全体で協力出来て良かった」という感想の通りに、学校全体の一体感のある芋ほり体験となりました。準備や管理を行ってくださった地域コーディネーターの皆さん、関係者の皆さん、お世話になりました。

みーもスクール　森の学習

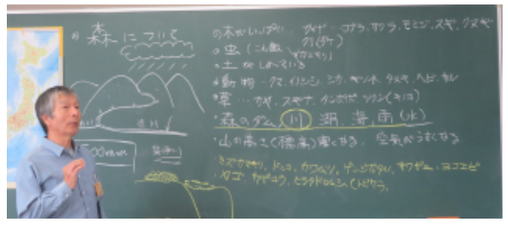
今年度も阿用地区振興協議会は、島根県の「県民参加の森づくり事業」により阿用小学校児童を対象に「みーもスクール」に取り組みます。

初回は、10月19日に開催し、阿用小学校3・4年生（15名）は、講師の島根県森林インストラクター竹田正彦さんの指導で森について学習しました。

森に存在する木・虫・動物・草等について、子ども達にどんな種類があるのかを列挙してもらいました。蝶やトンボについての特徴を教えてもらい、また、木の植生についても専門家の立場から深い話を聞くことができました。

雲・雨・川・地下浸透・湖沼・海といった水の循環も説明があり、理解を深めることができました。

次回は、地元の山で自然観察会を行います。



秋の交通安全の取り組み

9月30日（水）、阿用交流センターにおいて雲南警察署と阿用交通安全協会の共催による高齢者交通安全教室が開催され、阿用寿会の会員30名が参加されました。

最初に島根トヨタグループからサポカー（セーフティ・サポートカー）の説明があり、衝突被害軽減ブレーキや加速抑制装置の仕組みについて学びました。

その後、全体を二つのグループに分け、交互に講話の受講と乗車体験をしました。

雲南警察署による交通安全の講話では、反射材の着用、左右の確認、ハイビームの使用などについて説明を受けました。屋外においては、実際に乗車して衝突被害軽減ブレーキを体験したり、電動車を運転したりしました。

阿用消防団小型ポンプ積載車・想定訓練の写生

9月29日（火）に阿用小学校3・4生による、消防団阿用分団の操法訓練・小型ポンプ積載車の写生会（タブレットによる撮影）がありました。また、1・2年生は訓練・積載車を見学しました。

ポンプと吸管の結合・ホースの展張・ホースと管鎗の結合及び放水態勢状況を披露し、積載車の装備品について説明を行いました。

児童は色々なシーンを撮影し、後日それを見ながら絵を描きます。

見学した感想は、「消防機械を動かすところを見れて、うれしかった。」「防火服が重たかった。水を出す恰好が良かった。」とあり、大変有意義な時間でした。